

平成27年度 第3回 神林地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成27年11月19日(木) 13:25～15:25
2. 開催場所 神林支所 3階大会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、佐藤巧、竹内友二、阿部元広、木村和春
坂上孝雄、遠山千賀子、渡辺優子、野澤十治、大矢友子
4. 欠席委員 伊與部眞士、齋藤三七夫
5. 出席職員 鈴木神林支所長
(事務局) 自治振興室；瀬賀課長補佐、木村係長、佐藤主査、八藤後主任
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第3回神林地区地域審議会 会議次第

日 時：平成27年11月19日(木)

午後1時30分～

場 所：神林支所3階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 地域活性化推進事業「歴史探訪と和菓子作り体験」開催報告について

資料1

4 議 事

(1) 地域の目指すべき施策の方向性の整理について

資料2

資料3

5 その他

6 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13 : 25)

事務局； 定刻前ではございますが、本日出席予定の方が揃われましたので、ただ今から平成27年度第3回神林地区地域審議会を開会します。開会にあたり大嶋会長より、ご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

会 長； 本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。ただ今から、第3回神林地区地域審議会を開催したいと思います。今日は前回皆さまから提出していただいた地域の課題を基にして、提言書に盛り込む目指すべき施策について検討いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局； ありがとうございます。それでは審議に入る前に、本日の欠席者の報告と追加資料の確認をさせていただきます。本日の会議につきましては、皆さまに日程調整をさせていただきまして全員の都合の良い日を設定させていただきましたが、残念ながらその後、伊與部委員、齋藤委員から欠席の連絡をいただいております。続きまして、追加資料と資料の確認について説明いたします。

【配布資料の確認と追加資料について説明】

3 報告

(1) 地域活性化推進事業「歴史探訪と和菓子作り体験」開催報告について

会 長； それでは、報告の(1)地域活性化推進事業「歴史探訪と和菓子作り体験」開催報告について事務局から説明をお願いします。

事務局； はい、資料1をご覧ください。神林地区地域活性化推進事業第2弾「歴史探訪と和菓子作り体験」の開催報告について説明いたします。

【地域活性化推進事業「歴史探訪と和菓子作り体験」開催報告について説明】

事務局； 本日は、渡辺委員も出席されておりますので、補足がございましたらお願いします。

委 員； はい、今回参加した方にはこのようなアンケートで感想をいただきました。この事業を作る側として桃川真多羅会、平林城跡保存会、円福寺保存会、塩谷ベースの4団体にご協力をいただきました。わかりやすいガイドをしていただいたり、資料を作成していただいたり自主的に準備を進めていただきました。当日の運営にも協力していただきました。今後、このような形でそれぞれの良い所を1つのプログラムとして商品化していくと、外部からの人に対してのコミュニティビジネスにつながっていくと思います。

会 長； ただ今、事務局から説明がございましたが、何か質問等ございませんか。

委 員； 今回のような形で事業を実施した場合、どのくらい料金設定になるのか考えていますか。

委 員； はい、あとは自分たちのガイドなどを商品化することになりますが、はたしてどのくらいが妥当な金額なのか、どの程度の金額ならば来ていただ

るのかということがこれからの検討課題です。今回の場合は市からの補助で実施しておりますので、食費、材料費しかいただいていません。

委員； 参加人数や謝礼などを考えるとこの参加人数だと経費は1人あたり7、8千円くらいになるのではないのでしょうか。また、そのくらいのものでないとビジネスとして成立しないのではないかと思います。

委員； 今回実施してわかったのですが、参加者の中には和菓子作り体験をお願いした商店の商品を欲しいという人もいました。例えば、体験したあとに販売することで商業ベースにつながると思います。今回は市の地域活性化事業ということで販売はできませんでしたが、例えば塩谷の味噌を使った料理を食べてもらったあとに、この味噌を使いましたと販売するとかいろいろ次につながる可能性はあると思います。

委員； やはりビジネスとしていくには、ビジネスの指導をしていかなければならないと思います。

委員； 今、商品化するとお話ししましたが、お金をいただくためにはもっと整えていくものもありますし、今後の課題だと思います。今回は1つのきっかけとしてこの事業をさせていただいたので、今後につながっていけばよいと思います。

委員； 事業を実施した団体の意見もあればよいと感じました。いろいろご苦労様でした。これからよそから入ってくる人のことを考えてみると、味噌や米が美味しいということは、私たちはわかっていますが、よそから来る人は本当に美味しいのかわかりません。この店の商品を食べると体が良くなるとか機能性をうたっていないといけないと思います。値段ではよいものはできないので付加価値を見出すような形を作っていかなければならないと思います。

委員； 私たちの体験事業でも山形県などに行くと、有無を言わず商品を陳列して販売していました。これからはそういう気持ちを持っていかないのだめだと思います。

委員； その辺をアドバイスしてグレードアップしていただきたいと思います。

会長； 他にございませんか。

委員； 和菓子作りは良いイベントだと思いますが、参加者が少ないのと歴史探訪が主体のせいかわかいませんでした。宣伝の仕方はどうでしたか。

委員； 今回は歴史探訪なので、年代層が限定されることは最初から想定していました。ただ、歴史探訪だけでは人は集まらないだろうということで和菓子作りを取り入れました。第1弾の「ホテルの里～河内散策」では、子どもからお年寄りまでまんべんなく集まりました。ある程度参加者が限定されてしまうものと、だれでも参加できるものがあると思います。今回参加された方は目的意識を持って参加されており、ガイドの方の説明に熱心に耳を傾けられていて良かったと思いますが、人数的には少なくなっていました。

委員； わかりました。

会長； 他にございませんか。これは報告事項でございますので次の議事に入ります。

4 議事

(1) 地域の目指すべき施策の方向性の整理について

会 長； 議事(1)の地域の目指すべき施策の方向性の整理について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局； 本日は、項目ごとに資料3の②の課題と③の解決するための方向性についてご確認いただき、1月中旬に開催予定の第4回目の審議会で、提言書の記載内容を確定させていただきたいと考えております。それでは、地域の目指すべき施策の方向性の整理について説明させていただきます。

【地域の目指すべき施策の方向性の整理について説明】

事 務 局； 項目ごとに一つひとつ検討させていただきたいと思います。(1)の子育ての課題と解決するための方向性のまとめ方について、追加や訂正等が無い皆様のご意見をさせていただきたいと思います。

会 長； ただ今、事務局からの説明につきまして、質問ご意見等はございますか。

会 長； この中から1つか2つ提言書に盛り込むものを選ぶのですか。

事 務 局； はい。提言書に文書として記載する内容を各項目の課題から1つか2つ、特に重要と思われるものに絞っていただきたいと思います。

会 長； 皆さん何かございませんか。

委 員； 課題と解決するための方向性があまりにも簡潔化しすぎていると思います。そして、提言を1つか2つ選ぶということですが、1行か2行の提言でよいのですか。どのような形で提言が整理されていくのですか。

事 務 局； はい、最終的な提言のまとめ方については、まだ示されておられません。提言書は文章方式で行なう予定です。各項目で特に重要だと思われるものについて、皆さま方からいただいたご意見を基に文章化します。それに別紙という形で課題と方向性を整理したものを付けさせていただくこととしております。

委 員； 提言の整理の仕方だと思いますが、例えば(1)子育てについて解決するための方向性であれば、3つの方向性にまとめられていますが、これを1つにまとめて提言することはできないでしょうか。

会 長； 1つめの解決するための方向性であれば、(1)から(7)までわかれています。これをまとめればよいのではないですか。

委 員； まとめるのはよいと思いますが、私たちが提言しても可能性が無いものについてはどうするかだと思います。例えば、保育料の負担を見直すという提言を行った場合、それは財政面から見直すことはできない、というような目に見えてダメなものがこの7つの中にあるような気がします。そのことをわかった上で提言していかなければならないと思います。かなり正確にまとまっているので、この部分は本庁に聞かなければ解決できないとか、この部分は支所での解決が考えられるということを皆さんに示して、実現できそうなものをまとめて提言するという形がよいと思います。私たちが提言したことが実現できるような形で答申できるようにしないと、提言はしたけれど、何も意味が無かったということのないように考えた方がよいと思います。

委 員； 普通であれば提言というものは、最初に現状と課題を把握し、あるべき方向をまとめることだと思います。

委員； 子育てでは解決の方向性として3つありますが、今、市の総合戦略で人口減少問題が大きな問題となっています。ここにある子育て環境を充実していけば安心して子どもが産めるし、よそから移住して来られるということにつながっていくような提言を行い、その内容として、今このような事象、課題がありますということだと思います。

委員； 子育て1つとっても、1つや2つでは解決はできませんよね。

委員； 当然ソフトの部分とかハードの部分とか全部一緒になって解決するものだと思います。

委員； そのことを今日議論することによって見えてくると思います。

事務局； 解決するための方向性ということですし、当然予算も伴うことですので、全てが提言どおりに実現するものではございませんが、目指すべき方向性を示した提言を行うということで検討していただきたいと思います。補足になりますが、今日お配りした参考資料1について説明します。皆さまから子育ての部分でいただいたご意見の中には、保育料をはじめとした経済的な負担が子育て世帯の負担となっており、少子化の要因となっているとのご意見がございました。現在の保育料の負担額と今後の方向性について資料を基に説明いたします。

【参考資料1について説明】

委員； 子どもはだんだん少なくなりますよね。少なくなることは統計上わかっています。その少なくなる子どもを増やそうというのであれば、増やすためには何が必要なのかということを考えていかなければならないと思います。金銭的に保育料が安くなったから子どもが増えるかと言うとそうではないと思います。金銭的なことも大切ですが、根本的な解決策にはなっていないのではないかと思います。根本的解決をするために何を提言したらよいかだと思います。よそから人に来てもらうということではなくて、ここに来ると子どもが産みやすい環境ですよ、というものを出品しなければならないと思います。経済的に有利だから来てくださいという施策だと、近隣から集まってしまい移動されたところは、それではもっと負担額を減らそうということになりかねません。

会長； 他にございませんか。時間もございますので次に移ります。(2) 買い物について事務局から説明をお願いします。

事務局； (2) の買い物について資料3を基に説明いたします。

【買い物について説明】

会長； ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見等はございますか。

委員； 今、買い物にも行けない一人暮らしの高齢者がたくさん増えています。そういう人たちを地域の支え合いによって支援をしていかなければならないと思います。移動販売といっても、その場所まで行けない人もいます。村上市はそのような一人暮らしの世帯が何年後かには30パーセントくらいになるといわれています。その問題を住民の力で解決するために支援することが大切だと思います。この解決する方向性では、買い物弱者の支援とありますが、これからの高齢者の一人暮らし世帯をどのような方法で支援していくのかがわかりません。

委員； 例えば、一人暮らしの世帯を巡回して買いたい物を取りまとめて市内業者に依頼し、地域の人が配送するようにすれば良いと思います。買い物を取りまとめて届けるしくみへの中間支援が必要だと思います。

事務局； 今回、皆さまにお願いしていることは、課題を解決するための具体策について議論していただくことはではなくて、解決のための方向性について議論していただくこととですのでよろしくお願ひいたします。

委員； そうだとは思いますが、結果が伴うような形の提案にしていかなければならないと思います。

委員； 塩谷に週2回開く店があります。個人が自発的に買い物弱者を救済しようということではじめたものです。地域にも知られるようになり広がりを見せていますが、経営はどうかというと厳しいようです。私はこのような買い物弱者を対象とした店舗などに支援をするべきではないかという考えで具体的事象を書きました。

事務局； 買い物弱者への取り組みをしている方々や地域の人が援助していこうという取り組みについて支援をするという方向性でよろしいでしょうか。

委員； はい。

会長； 他にございませんか。無いようでしたら（3）交通について説明をお願いします。

事務局； （3）の交通について説明いたします。

【交通について参考資料2を基に説明】

会長； ただ今、事務局より説明がありました。質問等ございますか。

会長； 方向性の（1）のりあいタクシーですが、自分の都合のよい時間に合わないもので不便だという声があります。

事務局； 運行時間の拡充ということでしょうか。

会長； はい、行くのはよいが、帰りの時間に乗れないと次の時間まで長く待たなければなりません。まちなか循環バスは便がよいようです。

委員； 健康面からすると利用者は減った方がよいと思いますが、利用人数はどのくらいを想定したのですか。

事務局； 想定人数まで用意しておりませんでした。

会長； 他に無いようでしたら（4）教育について説明をお願いします。

事務局； 会長、ただ今の交通の中で、解決するための方向性の（2）新潟交通等と連携し、効率的な路線バス運行を推進するという方向性について、具体的事象で何点かご意見をいただいておりますので、皆さまからご意見をいただきたいと思ひます。

会長； はい。

委員； 路線は新潟交通が決めているのですか。

事務局； 市がお願いしています。

委員； 乗車人数も少なく効率の悪いバスなので、地域のタクシーを利用した方がよいのではないですか。

委員； 見直しをした方がよいのではないのでしょうか。

委員； そうですね。
事務局； そうすると解決の方向性（２）の書き方ですが、違う表現に訂正しますか。
委員； 固有名詞を書かない方がいいですね。
事務局； はい。
会長； 他に無いようでしたら（４）教育について説明をお願いします。
事務局； この教育につきましては非常にさまざまなご意見をいただいておりますので、課題も多くなっております。

【教育について説明】

事務局； 方向性の１として小中学校の統合を進めると書かせていただいておりますが、非常に大切な部分ですので、皆さまのご意見をいただきたいと思っております。
委員； 学区の変更とか統合問題はいつ頃結論が出るのですが。
会長； 今年中のまとめ来年には答申する予定になってはいますが、具体的にはっきりは決まっています。
委員； 住民説明はするのですか。
会長； 住民説明は行わないが、市報に載せるということです。
会長； 他にご意見はありませんか。
事務局； 神林地区の場合は、小中学校数の数が他地区と比べても人口の割には多い状況になっておりますし、この部分で多くのご意見をいただいておりますので、この問題を中心とした提言ということでまとめさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

委員； 一つよろしいでしょうか。課題の10番文化活動についてです。私も文化協会に加入しておりますが、文化協会の活動が厳しくなっております。年に一度芸能発表会を開催しておりますが、かなりの経費がかかっておりますが、市からは事業費の3分の1しか助成してもらえず、このままだと開催が危ぶまれることから、昨年からは事業所から寄付を募ってなんとか開催している状況です。このままですと、文化活動が衰退していくという危惧があります。そこでもう少し温かい援助をいただきたいというお願いです。文化活動は好きな人が活動していればよいのではないかと言われてしまえばそれまでですが、やはり地区内の文化活動の芽を絶やさないようにしなければならないと思っております。

会長； 他にございませんか。無いようであれば次の（５）行政について説明をお願いします。

事務局； （５）の行政について説明させていただきます。

【行政について説明】

会長； ただ今、説明がありましたが、質問等ございますか。
会長； この解決の方向性で職員の適正な確保とありますが、市では職員数を削減しており新規採用はあまりしていないのではないのですか。
事務局； 職員適正化計画がございまして、最終年度が29年度で733人ということになっております。今年度は760人となっております。当面の間はこの職員数を維持していくということになっております。

- 委員； この760人の中には、健常者と非健常者の割合もあるだろうし、どれだけの担当が精神的な負担をかかえているのかも考慮していかなければならないと思います。どこでも仕事の負担が増えれば精神的に参ってくる人は出てくると思いますし、それが顕著に表れているように思います。
- 会長； 他にございませんか。
- 委員； 解決するための方向性の中で、例えば課や地区を超えて取り組む体制を強化するとありますが、どこにアクセスしたら解決に向けて進んで行くのでしょうか。担当課それぞれがまたがっている部分について、アクセスするすべが不明確だと思います。これからもっと問題解決に向けて横断的に取り組んで行かなければならないので重要な方向性だと思います。
- 事務局； 支所については、2課体制となっておりますので地域振興課へアクセスしていただきたいと思います。
- 会長； 他にございませんか。無いようであれば、(6) その他に入ります。説明をお願いします。
- 事務局； (6) のその他について説明させていただきます。
【その他について説明】
- 会長； ただ今、説明がありましたが、質問等ございますか。
- 会長； 村上病院の早期建設ですが、今、燕三条に病院建設の計画が進んでいるようですが、また村上病院の建設が遅れるのではないですか。
- 事務局； そちらにつきましては、公設民営化でございますので、村上病院とは違う形の建設となります。村上病院につきましては厚生連が事業主体となります。
- 委員； 市の動きが進んでいないようですが。
- 事務局； 主体はあくまで厚生連ですので、厚生連側が進まない限り市では動けない状況のようです。
- 委員； 住民からの盛り上がりがもう少しあってもよいのではないかと思います。
- 会長； 他にございませんか
- 事務局； その他につきましては、人口減少問題、産業振興問題それから医療福祉体制の問題に対して、それぞれ複数のご意見をいただいております、それぞれが重要な問題かと思っておりますので、その他についてはこの3つで課題を整理させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。
- 委員； その他についてももう少し意見させてください。私は患者へのケア体制というもの、企業誘致より大切だと思います。この地域は環境がとてもよいので、こういう人たちが来られる取り組みの方を進めることで企業誘致より産業として成り立っていくのではないかと思います。このような取り組みに特化してもらうことでよそとの差別化が図られるのではないかと思います。
- 委員； 私の実体験になりますが、病院や施設に入っている間はフォロー体制があるのですが、退院してきても働ける状態ではない人たちのメンタル的なフォロー体制が出来ていません。そういう隙間の支援体制を作っていかなければならないと思います。そういう細部のところを地域で行って行ければ、この地域はよい地域だということになると思います。

委員； これから大都市で高齢者の介護などが大きな問題になると思います。その時に大都市からの高齢者が移住するということになれば人口減少問題や空き家対策の解決につながると思います。

会長； 他にございませんか。無いようであれば、5のその他に入ります。

5 その他

会長； 事務局お願いします。

事務局； 今回、皆さまからさまざまなご意見をいただきましたが、提言書の作成にあたりましては気持ちが伝わるような形で提言していただきたいとの要請がありましたので、フォーマットは各地区共通のものとなると思いますが、気持ちが伝わるような文書を作成し、次回皆さまにお諮りしたいと思いますのでよろしくお願いします。次回の日程ですが、提言書を提出する期限が1月22日までとなっております。つきましては、お配りしております日程確認表を12月4日までに提出していただきたいと思います。

会長； その他ということで皆さんなにかございますか。

委員； はい。神林地区紹介マップについてですが、確か道の駅にも設置しているはずですが、何回か行っても置いてありませんでした。どのように補充をしているのでしょうか。

事務局； 失礼しました。コンビニエンスストア等では無くなった場合連絡をいただき補充しておりました。今回最後に作成したものが秋バージョンということで掲載情報がすでに終わっているというようなことで補充をしておりませんでした。

委員； 胎内とか他地区のパンフレットはきれいな物がたくさん置いてあるのに、肝心の神林のパンフレットが何も無いのはおかしいと思います。冬バージョンを作成する予定があるかわかりませんが、一年中を通してのパンフレットでも構わないので置いてほしいと思います。

事務局； わかりました。

会長； 他にございませんか。

会長； 無いようであれば、これで終わります。

副会長； 長時間にわたり協議していただきありがとうございました。次回は全員参加できるように日程を合わせ、意見を集約して提言していきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

8 閉会 (15:25)